



大阪鉄道病院広報誌

メディカル ぽっぽ

Vol. 25

発行 2015年9月

発行者 大阪鉄道病院 〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町1-2-22 TEL 06-6628-2221(代表)

★当院は西日本旅客鉄道株式会社の企業立病院ですが、どなたでもご利用いただけます。★

大阪鉄道病院は創立 100 周年を迎えた

院長
上田祐二

~100周年を迎えるにあたって~

大阪鉄道病院は、その前身である神戸鉄道病院の設立から、今年で100周年の節目の年を迎えました。100年間継続して医療を提供できたことは、地域の皆様、関係機関の皆様をはじめ、多くの皆様のご援助をいただいた賜物であり、改めて深く感謝致します。また、当院の先人たちの努力についてもこの機会に振り返り、歴史の重みを有効に活かしていきたいと考えております。

当院は、「私達は人間性を尊重し、謙虚で誠実な医療を提供します」という病院理念のもと、地域中核病院としての責任を果たして参りました。100周年は、当院にとって重要な通過点ですが、次の100年に向け、確実な進歩を遂げ、地域医療にさらなる貢献ができるよう、新たな決意をする年としますので、今後とも、引き続きのご支援をよろしくお願い致します。

1929

昭和4年10月15日
大阪市阿倍野区
天王寺町南
1-3-5号へ移転

100年のあゆみ



1915

大正4年4月15日

神戸鉄道病院として
開設(神戸市)

1982

昭和57年7月1日

各種健康保険取扱
医療機関として
一般診療開始

2000

平成12年12月1日 現在地へ新築移転



2008

平成20年11月1日

回復期リハビリテーション病棟開設

大阪鉄道病院 理念

“私達は人間性を尊重し、謙虚で誠実な医療を提供します”

【基本方針】

1. 安全を積み重ね、患者さんから信頼される医療に努めます。
2. 地域中核病院としての役割を認識し、住民の皆さんの健康増進に努めます。
3. 地域医療機関との連携を重視し、きめ細かな医療に努めます。
4. 専門性を追求し、医療レベルの向上と人材の育成に努めます。
5. 急性期医療から回復期医療まで、良質な医療の提供に努めます。

現在の大阪鉄道病院

■ 病床数

320床(一般280床、回復期40床)

■ 診療科

19科、人間ドック検診

■ 患者数(平成26年度実績)

年間のべ：入院 78,563人 外来 188,524人
1日平均：入院 229.8人 外来 768.1人

婦人科の紹介



当院婦人科は、平成18年6月に分娩取り扱いを停止し産婦人科から婦人科へ標榜が変更しました。それに伴う人事異動で、平成18年4月から前田隆義と坂井昌弘が着任して参りました。それ以



前から勤務していた莊園へき子と3人体制で医療を行っておりましたが、5月末に最後の分娩を終了し、6月から前田と坂井の2人体制となりました。以後、主に婦人科疾患と不妊医療を中心に行ってきております。症例の増加等により、平成23年4月から藤山史恵が着任し、平成24年4月から藤山と交代で熊谷広治が赴任し、以後前田・熊谷・坂井の3人の常勤と、篠原智子が非常勤として木曜日の外来を担当しています。

当科では、おもに婦人科疾患を中心に、良性腫瘍・悪性腫瘍・不妊症・更年期および女性ホルモン疾患等の診療を行っております。

婦人科の良性疾患では、腹腔鏡下手術や子宮鏡下手術等の患者様に負担の少ない手術に力を入れております。悪性疾患では、当院が大阪府のがん拠点病院に指定されていることから、子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌等の症例も多く、進行悪性腫瘍の根治術、放射線療法や化学療法等を広範に行っております。特に、本年1月から放射線治療装置が更新され、高度な放射線治療が可能となっております。
また、子宮頸部の前癌病変や初期癌に対しては、低侵襲で妊娠性温存が可能な、短期入院での子宮頸部円錐切除術を積極的に行っております。

不妊治療に関しては、平成18年度から高度な不妊治療が可能なように施設を改修し、最新機器の整備に努めました。また平成19年4月に内野義彦・臨床検査技師を胚培養士として採用致しました。院内からも藤井和則検査技師が訓練を積み経験を重ねて、胚培養士として活躍しております。設備および人的整備が整い、平成19年6月から、体外受精・顕微授精等の高度な不妊治療を開始しております。現在、体外受精に関しては採卵ベースで年約120例施行し、年々増加傾向にあります。妊娠率も症例当たり70%近くあり、他の不妊施設と比較して遜色のない成績であります。男性の不妊症にも力を入れ、他院の泌尿器科と協力して、顕微鏡下の精巣内精子採取等も行っております。

今後も、病棟や外来のスタッフと共に研鑽を積み、臨床成績の向上に努め、患者様に信頼される医療を提供してまいりたいと思います。



臨床検査室の紹介

臨床検査室では下記のような検査を臨床検査技師17名で行っており、それぞれ専門の分野で認定技師を取得するなど、より専門的な知識と技能取得に努め、患者さんにより正確で迅速なデータを提供していきますのでよろしくお願ひします。

一般検査

尿の中の成分（糖・蛋白・潜血など）を調べることにより、腎・尿路系疾患の鑑別とその程度を知る検査、糞便の潜血、寄生虫検査を行っています。



生化学検査

採血された血液で肝機能・腎機能・脂質検査・血糖値を測定し、正確により迅速に検査結果を報告しています。また肝炎ウィルスや腫瘍マーカー（特定の癌などで数値が高くなる）も同時に測定を行い、診療サイドに情報を提供しています。



血液検査

血液の細胞成分（赤血球・白血球・血小板など）の測定や凝固検査を行っています。これにより、貧血はもとより化学療法、血液疾患（白血病など）、ワーファリン治療の指標や血栓の有無などの情報を提供しています。



輸血管理室

血液型や選択した血液と患者さんの血液が適合するか否かを確認する検査を行っています。また、輸血後感染症の検査も管理し患者様に情報を提供しています。
※輸血とは、手術や出血、貧血などの病気のときに、不足した血液を補充することです。



細菌検査

病気の原因となる起因菌の同定やそれに効く薬剤の種類を検査しています。また、院内の感染防止対策のための情報を発信しています。



病理診断

大きく分けて細胞診・組織診の2つがあります。細胞診は患者さんから痛みの少ない方法で細胞を採取し、その中にがん細胞が含まれているか検査しています。組織診では内視鏡検査による生検組織や手術による摘出臓器などを扱います。良性か悪性かの診断をはじめとして、がんが切り取られているか、がん浸潤の有無、がん転移の有無、治療効果の判定など様々な評価を病理医が行っています。



生理機能検査

心電図・脳波・呼吸機能検査・腹部・心臓・頸部・甲状腺・下肢血管の超音波検査を行い、その結果の画像を臨床サイドに配信しています。また、医師の治療の補助として超音波を用いて肝癌の局所療法も行っており、その機器には最新の高性能な超音波診断機器を導入しています。



第6回 胚培養室の ご案内



ぱっぽさんの院内ツアーアー

胚培養室をご案内いたします

こんにちは。熱いハート(鳩)で当院の情報を発信することを目指している、「ハトのぱっぽ」と申します。大阪鉄道病院内の、普段なかなか目にする機会がないスポットを私が紹介するこのコーナー、今回は「胚培養室」をご案内いたします。

内野技師、藤井技師、こんにちは。



胚培養士 内野義彦 藤井和則

ぱっぽさん、いらっしゃい。
私たち体外受精の専門技術者である胚培養士が、不妊でお悩みの夫婦に当院での治療方法等を説明いたします。



胚培養室ってこんな場所！

この部屋で、患者さんご夫婦からお預かりした貴重な卵子と精子を授精させ受精した卵(胚)の培養を行い、育った胚を子宮へ移植する体外受精や精子を卵子に注入する顕微授精、精子を調整する作業、胚や精子の凍結保存、培養液の作成など生命の誕生に直接かかわる業務を行っています。

この部屋のなかは、特殊なフィルターを通した清浄な空気の換気により、無菌状態が保たれています。

お邪魔しま～す、いま、何をされてるんですか？



クリーン・ベンチ：埃や雑菌の混入を防ぎながら無菌状態で作業するための装置。



顕微受精操作セット

受精した胚を培養するための培養液の作成を行っています。

インジェクションピペットという細い針を卵子の細胞質内へ突き刺して精子を注入しています。

私たち大阪鉄道病院不妊治療チームは、一組でも多くの患者さんご夫婦に赤ちゃんが授かることを目標に、医師、看護師等様々な職種の方がかかわりチーム一丸となって取り組んでいます。

次回は、リハビリテーション室をご紹介します。どうぞお楽しみに!!

健康レシピ

暑かった夏も終わり、やっと秋の気配が感じられます。夏の間に夏太りしていませんか？夏は代謝が落ち、冷たいおいしいものがほしくなるので、意外と太りやすい季節。そこで、気になる炭水化物を減らし、ヘルシーだけどボリュームたっぷりなまぜごはんの紹介です。ヘルシーなのに満足できるごはんはダイエットの強い味方。体重をコントロールしてフットワークの軽い秋を迎えましょう！

<ボリュームたっぷりひじきとしらたきの混ぜご飯> 2人分

①干しひじき8g、干しいたけ1個はそれぞれ水につけ、柔らかくもどす。ひじきは流水で洗い、水気をきる。しいたけは軸を切り落とし、細切りにする。戻し汁は残しておく。にんじん30gは細切りにする。インゲン20gはゆでて1cm程度に切る。しらたき40gはゆでて水気をきり(アク抜き不要のものは水洗いで可)、短めに切る。

②フライパンにごま油少々を中火で熱し、ひじき、しいたけ、にんじん、しらたきを加え炒め合わせる。全体に油がまわったら、酒小さじ1、みりん小さじ1、醤油小さじ2、椎茸の戻し汁大さじ2を加え、汁気がなくなるまで炒め煮にする。

③ごはん100gに②を混ぜ合わせて器に盛り、インゲンを散らして完成。
(一人分220Kcal 塩分約1.1g)

健康講座 開催のご案内

10月	日時	平成27年10月27日(火) 大阪鉄道病院 3階講堂 18:00～
講師	薬剤部 薬剤師 泉川 博子／古谷 真依子	がんと化学療法について～薬剤師の視点から～
内容		
11月	日時	平成27年11月24日(火) 大阪鉄道病院 3階講堂 18:00～
講師	循環器内科	内容未定
内容		
12月	日時	平成27年12月22日(火) 大阪鉄道病院 3階講堂 18:00～
講師	糖尿病・代謝内科	内容未定
内容		

100周年オープンホスピタルのご案内

平成27年12月12日(土)10:00～15:00

院内では健康チェックやリハビリ相談、子供制服コーナー、認知症やがんの相談、院内探検など他にも色々な催しを予定しています。日頃当院をご利用いただいている皆様や地域の皆様のご来院をお待ちしています。

JRの制服を着て
いこちゃんと
写真を撮ろう！